

原発再稼働、阻止しよう！

＝ 第11回さよなら原発1000人集会 ＝

11月20日（日）、いたみホールにて開催された「第11回さよなら原発1000人集会」に尼・西・北地域ブロックから参加してきました。



はじめに、京都大学複合原子力科学研究所員の今中哲司さんの講演を聞きました。

講演では、安全性の無い原子力、そして原子力にむらがる利権構造の実態を知り、私は「改めてこの国は人の命や暮らしよりも利権が優先で、限りある生命であるからこそ尊厳があり、自他の生命を大切にしなければいけない」と憤りを感じました。

また、福島県の汚染地域付近で生活をしている方、農家を営んでいる人たちなど大変な状況で生活している真実はメディアでは取り上げてない。原発の抱える事故の危険性と放射性廃棄物の厄介さを考えると私たちの社会はエネルギー源として原子力を利用するべきではありません。原発の事故の影響で今でも苦しい思いをしている人たちがいる中で、原発は日本に必

要ありません。何が本当に大事なのかももう一度考える必要があると思いました。

あぶない原発と岸田政権

岸田政権は、カーボンニュートラルを理由に原子力を増やし動かそうとしています。現在、日本の電力のなかで5～6%しか使用されていない原子力をカーボンニュートラルを理由に20%を超える使用を計画して、絶対に原子力エネルギーの使用を増やすことは間違いであり、福島で起きた事故の再検証をして、原発の再稼働は絶対やめるべきです。



そして、40年で停めるはずの原発を60年まで引き延ばし、休止していた期間は経年に数えないというありさまは理解できません。

私たちが住んでいる家でも経年劣化でいたんだり、壊れたりしてリフォームや修繕をします。家などは建て替えたり、修理することはできますが、原子力発電所においては、福島第一の事故後の汚染



水の処理を含め、今の人類の技術では処理することができない状態です。そんな原発の問題を風化させ、問題を先延ばしにして既存の原発を使用していこうとしていることを許してはいけません。

国民に真の平和を！

国民の安全な生活よりも、ひと握りの利権のためだけに金を優先させるような国を、絶対許してはいけなと感じました。2018年、原発依存度を可能な限り低減させていくということがうたわれていました。2030年のエネルギーの姿を示したエネルギーミックスでは、電源構成比のうち、原発は20～22%を占めるとされていたのです。原発がなくてもエネルギー政策を進めることができます。

毎年、恒例になっている原発反対集会を開催しなくてもいい安全な社会にと考えますが、現実的には厳しい状況が続いています。今後も原発の稼働をなくしていく活動を労働組合が地域の仲間と共に運動を強化し、広めていきたいと集会に参加してあらためて決意しました。

(執行部 田村 吉雄)



中央本部バス・タクシー対策会議開催

中央本部の呼びかけによる第1回バス・タクシー対策会議が11月19日、大阪勤労福祉会館にて、本部役員4名、神戸支部9名、大阪支部6名の計19名の参加で開催された。旅客自動車運送事業のバス分会とタクシー分会は関西にだけあるので、主催地は関西としている。

冒頭に畠山地本委員長から交運労協政策要求と回答の中から抜粋した資料の説明があり、バス関係は神戸支部、タクシー関係は大阪支部から資料を提出し、現状報告と課題について議論された。



旅客運送事業はコロナ感染症の影響で訪日外国人観光客数が激減し、試算されていた需要人口より9割減となりバス・タクシーの売上げも3分の1程度まで落ち込んだ。その影響で賃金低下、離職率

増、雇用不安が拡大している。

バス・タクシーは公共交通機関であるが政府の対策はほとんどなく、タクシー運転手の高齢化が進み、人手不足が深刻化している。地震などで鉄道が止まってもバス・タクシーはフル活動で回転が効かない。労働者の不足を解消するためには労働条件の改善、賃金アップが必要だが、バス事業者も危機的な経営で多額の借入金でしのいでいる状態だ。タクシー業界の賃金は、累進歩合制が横行し、長時間労働をしなければ賃金も最低賃金程度しかなく、満足な生活ができない状況が続いている。

間近に迫る「2024問題」

2024年問題で賃金改定、長時間労働が見直しされてきているが、需要状況が低いままでは売上も賃金も伸びない。タクシーアプリなどの活用で顧客の確保率は上がるが、乗客がタクシー会社を選べるので競争率は高く、安定した利益にするには過剰なサービスが求め

られ、運転手に否がなくてもクレームをつける乗客もいる。

事故をすれば重大ニュースで取り上げられ実名が出される。そんな仕事を若い人は選ぶだろうか。

安全を最優先にするバス・タクシーを魅力ある産業にするには低賃金、長時間労働の改善だ。

京都タクシー値上げへ
来夏以降44社申請、観光客減響く

「15～20%上げ必要の声」

関西の主なタクシー初乗り運賃

都市	550円	1.44円/分
大阪市	550円	1.44円/分
京都市	420	1.2
神戸市	610	1.5
奈良市	660	1.3
和歌山市	580	1.5
大津市	480	1.2

(注)各地域の小型車もしくは軽自動車、公道運賃の半額

東京では15年ぶりに料金が値上げされた。京都、大阪でも申請中で来年には上がるだろう。移動弱者の負担を減らす施策も必要になってくる。課題は多いがバス・タクシー分会を、仲間を守るためにも課題に向き合い解決していかなければならない。

(副委員長 陣内 恒治)

支部ホームページも見てね！

アドレスは <http://www.zenkowan-osk.org/>

